学校番号	T3015

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	指導教員の手本						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いわゆる「お習字」の学習は、中学校では国語の書写として学びました。それを発展させ、高等学校では、芸術科の選択書道として学びます。
・楷書の「永字八法」から入り、中国や日本の古典の臨書を通して、行書、草書、隷書、篆書の字体の変遷を学んで行くことにします。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、書写や鑑賞の基礎的な知識を身に付け、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について理解し、書の美しさと表現効果を感じ取れ、漢字の書体の変遷等が理解できる。感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半		永字八法 漢字かな交じりの書の練習 楷書の練習	a: 基本的な用筆・運筆ができている。 b: 字形や全体の構成が工夫されている。 c: 書について、興味を持って意欲的に取り組めている。	提出作品 プリント	提出作品 実技 テスト	提出作品 観察
前期後半		虞世南(楷書)の臨書 欧陽詢(楷書)の臨書 顔真卿(楷書)の臨書 褚遂良(楷書)の臨書	a: 古典の特徴的な用筆・運筆を試みている b: 楷書の表現方法や基本的な知識･用筆方法を理解し字形や全体の構成が工夫されている。 c: 古典の特徴を捉えて、意欲的に取り組めている。	提出作品 プリント	提出作品 実技 テスト	提出作品 観察
後期前半期		王羲之(行書)の臨書 「集王聖教序」の臨書 「蘭亭序」の臨書	a: 古典の特徴的な用筆・運筆を試みている b: 行書の表現方法や基本的な知識･用筆方法を理解し字形や全体の構成が工夫されている。 c: 古典の特徴を捉えて、意欲的に取り組めている。	提出作品 プリント	提出作品 実技 テスト	提出作品 観察
後期後半期		空海「風信帖」の臨書 智永(草書)の臨書 隷書の臨書 篆書の臨書	a: 古典の特徴的な用筆・運筆を試みている b: 各書体の表現方法や基本的な知識･用筆方法を理解し字形や全体の構成が工夫されている。 c: 古典の特徴を捉えて、意欲的に取り組めている。	提出作品 プリント	提出作品 実技 テスト	提出作品 観察

		卒業創作 半切1／4に、「卒業にあたって」のメッセージを書く。	a:１年間の知識を用いて 自分なりの用筆、運筆で表現している。 b: これまでの表現や鑑賞活動を元に作品の構想、書体の選定、字形など完成までの創作活動について判断し、創作により表現する。 c:完成までの創作活動について興味・関心を持ち、自分なりの表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組めている。	提出作品	提出作品	提出作品 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度